

□ 患者の尊厳と安全の保護

## 身体的拘束最小化に向けた取組について

入院患者様の尊厳を守り、安心できる療養環境の実現に向けた当院の方針と取組

### ■ 基本方針

当院では、入院患者様の尊厳の保持および療養環境の質の確保を最優先に考え、身体的拘束を原則として行わない方針を掲げています。やむを得ず身体的拘束を実施する場合であっても、それは患者様または他の患者様の生命・身体を保護するための緊急やむを得ない対応に限定されるべきものであり、私たちは組織風土としてその最小化に一丸となって取り組むことをここに表明します。

病院長 田山 尚久

### ■ 具体的な取組

取組名	取組の内容	頻度・基準
身体的拘束最小化チームの設置	多職種からなる専門チームを設置し、実施状況の把握や解除に向けた検討を行っています。	常設
委員会の定期開催	具体的な最小化策や好事例を共有しながら、継続的な改善を推進しています。	3か月に1回以上
病棟巡回と多職種検討	最小化チームが定期的に病棟を巡回し、現場職員と共に解除や代替策(離床センサー等)の導入を積極的に検討しています。	定期実施
職員研修の実施	全職員を対象に、患者様の尊厳保持や代替策に関する研修を実施しています。	年2回以上
抑制用具の一括管理	抑制帯等の用具は病棟外の1か所で一括管理し、安易な使用を防ぐ仕組みを構築しています。	随時

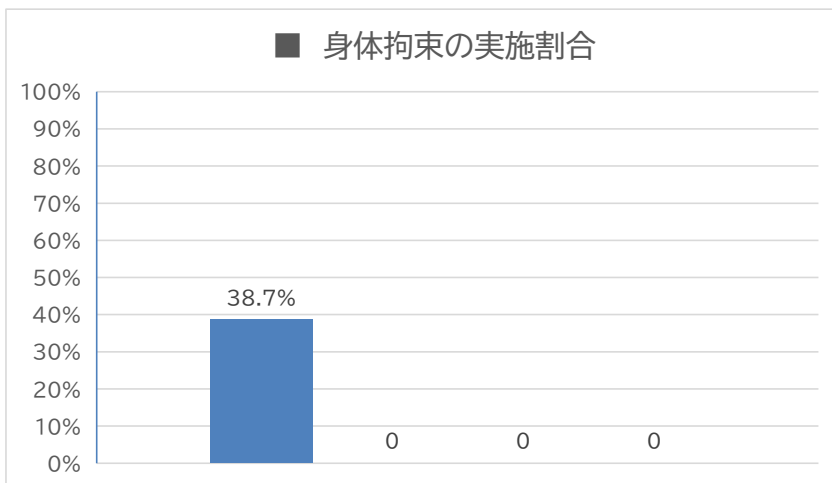
### ■ 実施状況(実績)

#### 身体的拘束の実施割合

38.7%

直近3ヶ月の実績

#### ■ 身体拘束の実施割合



#### 【算出方法】

分子 直近3か月間の入院料算定日数のうち、身体的拘束を実施した延べ日数

分母 直近3か月間の総入院料算定日数

備考 ※ センサーのみの使用や処置時の短時間固定等は診療報酬の規定に基づき日数に含まれておりません。

集計期間:2026/01/01~2026/03/31 (集計日:2026/05/16)